

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

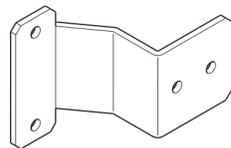
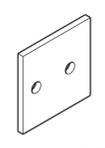
▲注意

- 面格子の落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・面格子は手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ等を指定の数量をお使いください。
- ・出窓方立のブラケット取付け穴は、必ずφ3.5であけてください。

■施工上のお願

- 面格子は室内側からねじ止めするため、ガラス及び障子を組み込む前に取り付けてください。出窓の品種によっては面格子が取り付けられないおそれがあります。
- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
- ねじは2.5+0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみがたつきのないことを確認してください。

■取付け部品一覧表

名称	出窓用ブラケット	裏板A	φ4×13テクスねじ	M4×12ナベ小ねじ
姿図				
	4個	4個	8本	8本

■取付け順序

1 ブラケット取付け穴の加工

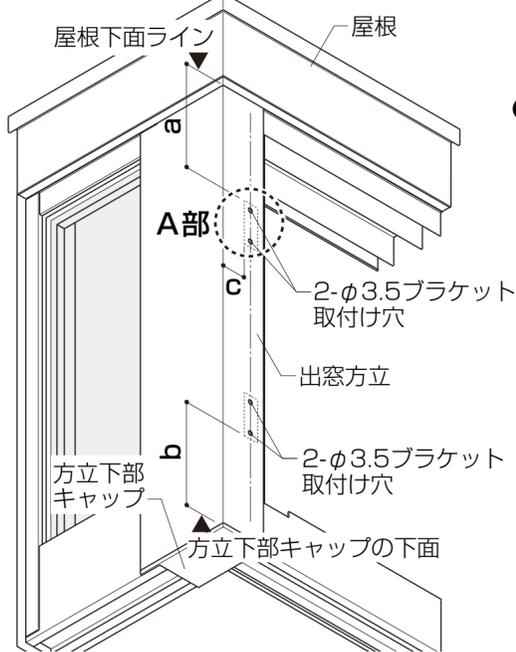
※出窓方立に取付け穴が加工されているものは不要です。

- ①a～c寸法位置にブラケットを当て、加工位置を決めます。
- ②φ3.5のドリルで、ブラケット取付け穴をあけます。

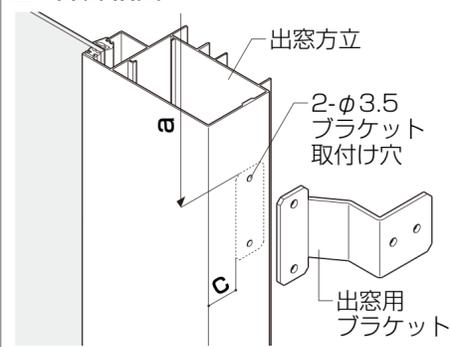
▲注意

- 必ずφ3.5の下穴をあけてください。

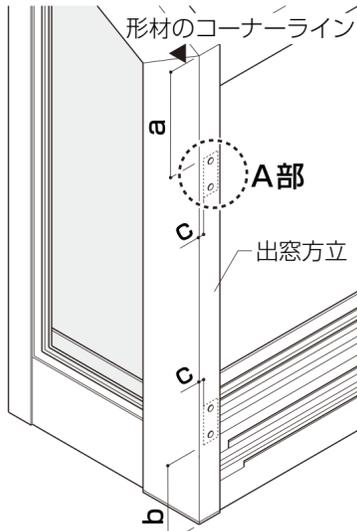
●KG・KGJ・KL・KB・BB・KL200型・BB200



■A部詳細図

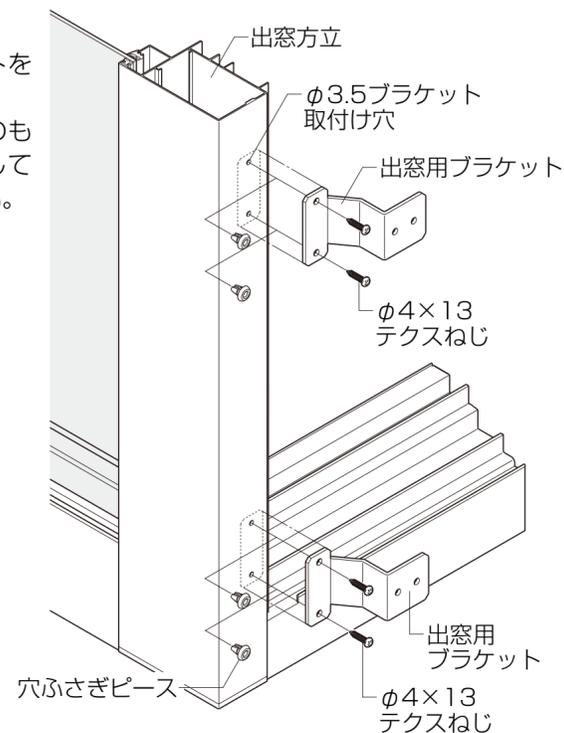


●KF・BF・KH・KT・BT・KT200・BT200型



2 ブラケットの取付け

- 出窓方立にブラケットをねじ止めします。
- ※穴ふさぎピース付きのものはピースを取り外してから固定してください。



■ブラケット固定位置

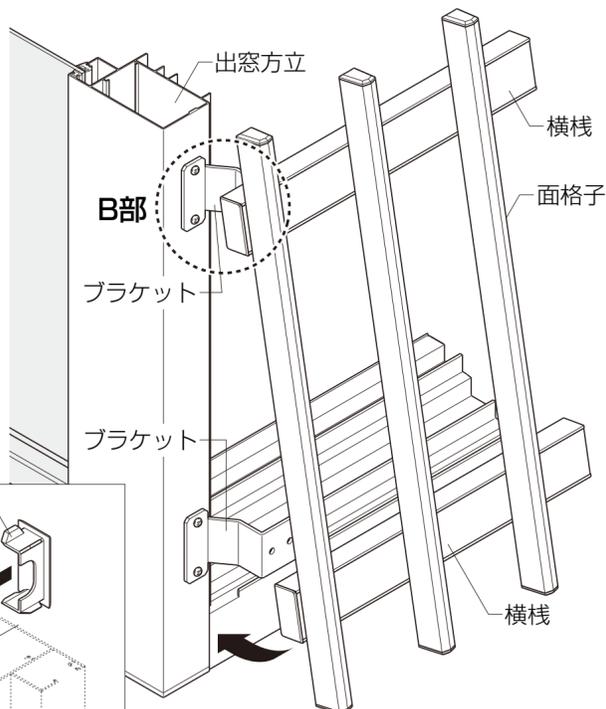
(単位: mm)

品種	KG・KGJ型	KF・BF型	KH型	KL KL200型	KT・BT・KT200 BT200型	KB・BB型 BB200
a寸法	94.5	107.5	97.5	75.5	106	75.5
b寸法	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5
c寸法	5	5	5	20.5	10	5

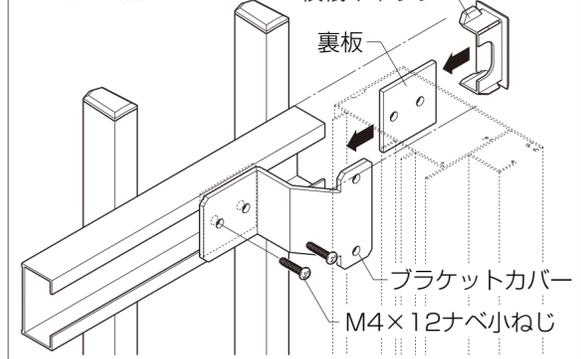
3 面格子の取付け

※面格子はガラス及び障子を組み込む前に取り付けてください。

- ①裏板を横棧の溝に差し込みます。(B部詳細図)
 - ②横棧キャップを横棧の両端部に差し込みます。
 - ③ブラケットと裏板をナベ子ねじM4×12で室内側から固定します。
- ※この時、面格子の取付位置は左右均等にします。

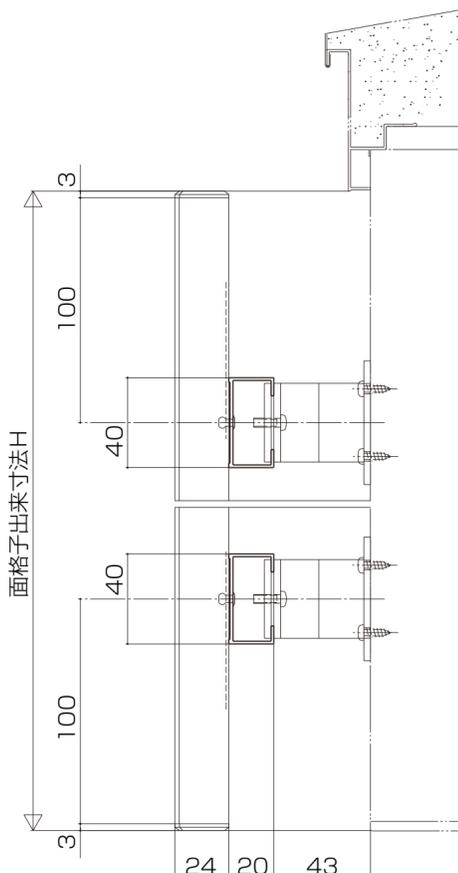


■B部詳細図



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

